

保護者の皆様（1～5年）

校長 田原俊典

模擬的な学校休業日の設定について

猛暑が続く日々、豪雨災害対策、コロナ感染対策など大変な時期にも関わらず、いつも本校の教育にご理解とご協力をいただいている保護者の皆様には教職員を代表して衷心より感謝申し上げます。

さて、現在の広島県のコロナ感染拡大は深刻な状況です。また、全学年の保護者の皆様から本校に日々寄せられてくるご家族等の様々な感染状況に関する報告は、本校の生徒・教職員等学校関係者が感染防止という観点において非常に厳しい状況に置かれていることを提示していると考えています。本校としても感染防止対策はできる範囲で実施していますが、個々の生徒・教職員等学校関係者が真摯に緊張感を持って感染拡大防止に努力していたとしても、現在の状況からは絶対に感染しないと断言することはできません。現時点ではまだ生徒・教職員等学校関係者の感染は確認されていませんが、近々に感染が確認されても不思議ではないという現状認識は保護者の皆様とも共有させていただきたいと思います。

そこで、8月の下旬の3日間をあえて模擬的に本校の緊急事態として学校休業を設定して、全教員と全生徒がともに遠隔授業が確実にできるように訓練することが必要であると考えました。6年を除く1年から5年の生徒の皆さんは、その3日間は登校せずに自宅で遠隔授業を受けてもらいます。

以前の学校休業期間にもオンラインにより特別なプログラムを実施しましたが、今回の模擬的な学校休業においては、学校内に感染クラスターが発生し、学校を急遽一定の期間ロックダウンせざるを得ない状況を想定していますので、通常の時間割をそのまま遠隔授業で実施し、学習の停滞を発生させないための緊急対応訓練としてお考えいただきたいと思います。

今回の訓練によって、教員のスキルの問題、生徒の皆さんの家庭学習の定着度の格差による問題、通信障害・端末機器の不調の問題、その他実践してみないとわからない問題点が多く出てくると推測しています。今回の訓練により浮かび上がった問題点については、本校の重要課題として早急に解決手段を考案し、来る緊急事態に備えておく所存です。

本校に今後緊急事態が発生しないことを強く祈るばかりですが、実際に発生した際には、生徒の皆さんの学習ロスを最小限にとどめることは当然として、家庭で待機する生徒の皆さんと学校が、あるいは生徒の皆さん同士が、最低限のコミュニケーションをオンラインの遠隔操作により保持することができる環境を作っておくことは本校の喫緊の課題であると認識しています。

貴重な学校生活を結果として3日間奪うことになり、保護者の皆様にはご心配をおかけしますが、将来の新しい学校生活を創造する意味でも大切な3日間であることをご理解いただき、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。具体的な実施については下記をご覧ください。

記

1. 実施日時

- ・ 8月26日（水）～8月28日（金）の3日間
- ・ 生徒は、自宅にて朝のSHRと終礼等を含み、通常の時間割の午前中4限（50分授業）を受ける。

2. 対象学年

- ・ 6年生を除く1年生から5年生の学年において実施する。
- ・ 6年生は通常通り登校し、50分授業6限を行う。

3. 具体的内容

- ・ このたびの訓練の成果を確認する意味で、遠隔授業時に使用するビデオチャットアプリを「[Google Meet](#)」に統一する。
- ・ 実験研修期間中の3日間の班活動については、15:30～17:30のみ活動を認めるが、活動の有無に関しては各班参与より指示する。

以上